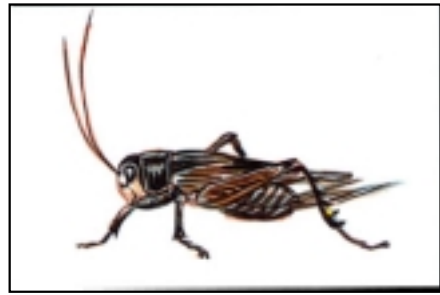


種名 ミヤマアカネ



丘陵地や低い山地の水田、湿ったところの、ゆるやかな流れのまわりにすんでいます。幼虫は、よどみにたまった泥の上で見られます。成虫は、7～11月頃まで見られます。おもに、姫川に沿った水田地帯に見られます。河川敷では、あまり見られませんが、虫川が合流するあたりでは、たくさん見られることがあります。

種名 エンマコオロギ



もっともふつうに見られる大型のコオロギで、畑や草地にたくさん見られます。秋に、コロコロコロリーと、美しい声で鳴きます。姫川全地域の草地に、たくさん見られます。秋には、あちこちで声を聞くことができます。場所によっては、エゾエンマコオロギといっしょにすんでいます。

種名 オニヤンマ



本州では、一番大きなトンボです。幼虫は、小川や、湿ったところにあるゆるやかな流れの、泥や落ち葉が積みかさなった中にすんでいます。成虫は、6～10月頃まで見られます。8月頃に、ほぼ姫川の全地域で、飛んでいる姿が見られます。ここではほかに、大きなヤンマ類がないため、姫川で大きなトンボは、だいたいオニヤンマです。

種名 クルマバッタモドキ



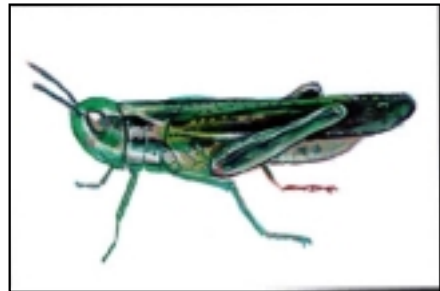
北海道から九州の草地に、ふつうに見られるバッタの一種で、8月頃に成虫が見られます。姫川の全地域の草地に見られます。トノサマバッタに似ていますが、うしろのはねに、黒い帯があるので、飛んでいてもかんたんに区別できます。

種名 エゾエンマコオロギ



北海道から本州の一部に見られる、大型のコオロギです。エンマコオロギにたいへんよく似ていますが、エンマコオロギと比べて、顔の白いまゆの部分まゆが小さいので、見分けることができます。河川水辺の国勢調査こくせいちょうさ（1996年）において、虫川が合流するあたりの草地で、初めて見つけられました。数は少ないようですが、まわりの環境の状態から、そのあたりに広くすんでいる可能性があります。鳴き声に特徴があるので、すぐにエゾエンマコオロギだとわかります。

種名 マダラバッタ



関東より西の本州から南西諸島にまで、分布しています。海岸や、海岸近くの草地に見られます。成虫は、8月頃にあらわれます。姫川では、海岸に近い草地にすんでいます。数はあまり多くない種類です。